

## 第17回 滝井セミナー

### — 子どもを理解するために —

関西医科大学総合医療センター分教室

#### 1 はじめに

「滝井セミナー」は、関西医科大学総合医療センターの小児科の医師と関西医科大学総合医療センター分教室との共催で実施している研修会である。府立支援学校のセンター的機能の一環として長年取り組んできている研修会でもある。以下、概要を報告する。

#### 2 第17回 「滝井セミナー」の概要

日 時 令和5年8月3日（木）・8月4日（金） 両日とも13:30～16:45

※オンデマンド配信

令和5年8月4日（金）～8月31日（木）まで

配信方法 オンデマンド配信：YouTube を利用した限定配信

対 象 教職員及び教育関係者等

目 的 コロナ禍における起立性調節障害や摂食障害など小児心身症の子どもたちへの留意点や対応等について理解を深める。

内 容 「発達障害への理解と対応」

関西医科大学総合医療センター 小児科部長 石崎 優子

「起立性調節障害への理解と対応」

関西医科大学総合医療センター 小児科医師 柳本 嘉時

「摂食障害への理解と対応」

関西医科大学総合医療センター 小児科医師 吉田 龍平

#### 3 アンケート結果報告

（会場参加及びオンデマンド視聴希望申込数 469 名 アンケート回収 180 名）

##### ◎アンケート結果

所属	小学校	中学校	高等学校	支援学校
	111	55	7	7

職種	普通学級 担任等	支援学級 支援学校	養護教諭	管理職	その他
	15	74	62	4	25

##### ◎次年度希望する開催方法

会場開催及び 動画形式	動画形式の配信 のみ	会場開催のみ	その他
108	38	28	6

### Ⅲ 公開講座

#### 4 考察とまとめ

##### (1) セミナーについて

今年度数年ぶりに会場での開催が実現した。新型コロナウイルス感染症の影響が残る中にも関わらず、多くの方が会場まで来られ、セミナーに参加いただくことができた。

アンケート結果等（自由記述）からセミナーへの満足度は例年同様高く、リピート参加される方も多かった。その点からもドクターの講義が小中学校等で活用されていることが推測される。また、講演後の質問タイムにおいてもドクターへの質問が途切れないことなど、本セミナーの必要性を強く感じる。

##### (2) 課題

今年度のセミナーについて特に大きな問題は感じていない。今後もセンター的機能を発揮していくうえで、いくつかの課題がある。

###### ①開催方法

###### ②セミナーの内容の改善

###### ③参加数に対するアンケート回答率の低さ

###### ④セミナー参加者募集方法

##### (3) 改善及び取り組み

- ・昨年までの3年間、新型コロナウイルス感染症の影響で研修会や勉強会など、人を集めてこれまで開催してきたイベント等の在り方が大きな転換期を迎えた。その中で、滝井セミナーとしても来年度以降どのような方法で開催することが参加者のニーズや時代に即した形なのかを検討し、よりよい開催方法を見出していきたい。(課題①)
- ・本セミナーは大阪府内の小中学校等に向けて情報発信の場としてスタートしたセミナーである。また、このセミナーには各現場で必要とされる情報を、より多く今後も発信し続けていく役割がある。そこを鑑みて、これまでの内容に加え、アンケートやその他、様々な場面で様々な方々からご質問等を受ける内容にお応えできるセミナーへと改善、発展が必要なため、来年度のセミナーには新たな要素を加えていく。(課題②)
- ・参加者への促しは十分に行っていると考えているが、結果的には不十分であることがわかる。特に配信視聴された方のアンケート回答率が低いため、案内の仕方やアンケートの取り方に改善を加えていく。(課題③)
- ・クラウド上での参加募集方法を行っているが、慣れていない参加希望の方も多くおられ、今年度もトラブルが多く、そのため参加したくてもできなかった方がおられた。そのあたりの案内の方法や申し込み方法など、わかりやすいものに改善する(課題④)

##### (3) 最後に

来年度のセミナー開催に向けて、今年度の課題を改善し、回を重ねるごとにより精度の高い、意義のあるセミナーへと発展していけたらと願っている。